

日本燃焼学会誌論文審査委員会

委員長	植田 利久 (慶應義塾大学)		
委員	越 光男 (大学改革支援・学位授与機構)	YOON, Youngbin	(Seoul National University, Korea)
	小林 秀昭 (東北大学)	SHY, Shenqyang Steven	(National Central Univ., Taiwan)
	藤田 修 (北海道大学)	HAYNES, Brian	(Univ. of Sydney, Australia)
	津江 光洋 (東京大学)	FERNANDEZ-PELLO, Carlos	(Univ. of California at Berkeley, USA)
	秋濱 一弘 (日本大学)		

論文投稿規定 (平成21年9月5日改正)

1. 募集する原稿の種類と内容

- (1) 燃焼の学術および技術に関する和文と英文の投稿原稿を論文審査委員会で受付けて審査し、優れた内容のものを日本燃焼学会誌 (以下、本誌) に掲載する。
- (2) 論文審査委員会で受付ける原稿の種類は、原著論文、解説論文、技術報告、短報および誌上討論とする。
- (3) 本誌に掲載される論文等の1編あたりの刷りページ数の制限は、別表1のとおりとする。

2. 投稿に際しての注意事項

- (1) 投稿原稿の著者 (連名の場合は1名以上) は本会の会員でなければならない。ただし海外からの英文投稿に対してはこの限りでない。
- (2) 論文、技術報告および短報の内容は、他の学協会誌、論文集またはこれに準じる刊行物 (大学・研究所・会社等の出版物ならびに講演会プロシーディング・講演集は含まない) に発表されていないものに限る。
- (3) 誌上討論の投稿は、掲載後1年以内の論文、技術報告、短報に対するものに限る。回答を掲載しようとする論文、技術報告、短報の著者は、正当な理由のない限り、質問、論評発送後1ヶ月以内に回答しなければならない。質問はそれに対する著者からの回答と合わせて掲載することを原則とするが、著者の回答が得られない場合には質問者の意見のみを掲載することがある。質問は原則1回に限る。

3. 掲載までの手順

- (1) 原稿は日本燃焼学会誌原稿執筆要領 (本会ウェブサイト、<http://www.combustionsociety.jp> に掲載) に従って作成し、別表2の送付先に原稿表紙1部をつけて校閲用の原稿3部を郵送するか、または、原稿表紙のpdfファイルと原稿のpdfファイルを電子メールに添付して送付する。ただし、メール添付のファイルサイズは最大3MBとする。印刷形式に近いフォーマットによる投稿を推奨する。
- (2) 2名の校閲委員の査読を経て、論文審査委員会が投稿原稿の採否を決定し、著者に通知する。その間に論文審査委員会より原稿の修正を求められた場合には、著者は修正後の原稿に校閲所見に対する回答を添えて、なるべく早く別表2の送付先に再提出すること。照会発信日より6ヶ月を越えて再提出がない場合は撤回とみなす。
- (3) 掲載決定通知後、速やかに図表を含む最終原稿のファイルを別表3に示すいずれかの方法で別表2の送付先に提出すること。
- (4) 本誌に掲載された記事の内容については著者が責任を負うものとする。

4. 著作権

本誌に掲載された論文等の著作権は (社) 日本燃焼学会に帰属する。本誌掲載後に著作者自身が自分の論文等の全文または一部を各種ウェブサイトに掲載しても、これに対して本誌では原則的に異議申立てをしつら妨げることはしない。

5. 原稿受付・受理日とプライオリティ

原稿受付日は原稿が送付先で受け付けられた日とする。原稿

受理日は論文審査委員会の審査を経て、本誌への掲載が決定した日とする。掲載された論文等のプライオリティの発効日は原稿受付日とし、本誌に原稿受付日と原稿受理日を明記する。

6. 掲載料・別刷料金

掲載料は無料とする。ただし、掲載後別刷 (50部) を購入するものとする。別刷 (50部) の料金は、刷り10ページ以内は一律30,000円、10ページを越える場合は追加1ページ当たり9,000円を加算する。短報の別刷 (50部) は10,000円とする (海外機関からの投稿は購入義務免除)。誌上討論の別刷 (50部) は無料とする。カラー写真を掲載する場合は、その印刷実費の全額を著者の負担とする。50部を越える別刷の要望には別料金で応じる。

別表1. 応募原稿の種類

分類	内容	制限刷りページ数
原著論文	研究成果に独自の新鮮さがあり、ある水準に達していること。研究成果に一応の区切りとまとまりがあること。	16ページを越えない必要最小限度数
解説論文	独自の捉え方に立ってまとめられた過去の研究の体系的な解説で、内容が公平で、ある水準に達していること。	
技術報告	技術開発の紹介など、会員に技術に関する有用な新しい情報を提供するもの。PR性の強いものは除く。	
短報	技術的または学術的研究成果を短くまとめたもの、または、速報性があるもの。いずれも新しい事実や価値のある情報を含むこと。	2ページ以内
誌上討論	発表された論文、技術報告、短報に対する論評、質問、回答等。	半ページ以内

別表2. 原稿等の送付先

郵送	日本燃焼学会 事務局 (本誌裏表紙をご参照ください)
e-mail	review@combustionsociety.jp

別表3. 掲載決定後の最終原稿送付

ファイル形式	MS-Word または一太郎で作成された pdf に変換前の図表を含むワープロファイル、またはテキストファイル
送付方法	1) ワープロファイルを電子メール添付書類で送付する。ただし、ファイルサイズは最大3MBとする。圧縮可。
	2) ワープロファイルをCD-Rに記録して郵送する。
	3) 高品質にプリントアウトされた本文と図表、および本文のテキストファイルを記録したフロッピーディスクを郵送する。